

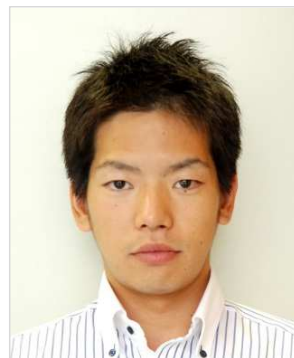
NSCAジャパン 南関東地域ディレクターセミナー

2017年11月11日(土)

主催 特定非営利活動法人NSCAジャパン
後援 特定非営利活動法人ジュース、女性スポーツ研究センター

時間	9:00~15:00 (8:30~受付)
会場	日本体育大学 世田谷キャンパス 2201 教室 (東京都世田谷区深沢7-1-1) (※ 10月5日、教室変更いたしました)
内容	<p>【講義】 9:00-12:00 「スポーツ現場に役立つ学術論文の検索方法と その活用方法について」</p> <p>学術論文を直接現場で活用することは非常に難しく、我々、NSCA認定資格保持者が「研究と現場の橋渡し役」になることが求められています。スポーツ科学分野の学術論文の検索方法や読み方について、具体例を出しながら進めて行きます。また、論文が掲載されるまでの過程についても紹介し、データ解釈についての注意点を議論したいと思います。</p> <p>参考文献 1) Bishop DJ. An applied research model for the sport sciences. Sports Med.38(3):253-63. 2008 2) Judge LW, Craig B. 研究と現場のコーチングとの乖離. NSCAジャパンS&Cジャーナル. 24(6). 34-39. 2017</p> <p>【講義】 13:00-15:00 「成長スパートを逃さず背を伸ばす！ ～女性アスリートのコンディショニング～」</p> <p>女性アスリートがスポーツに長く関わるためにも、特に成長期の過ごし方は大切である。“成長スパート”を逃さず、身体的な成長を十分に促すために知っておきたいポイントを解説する。また、女性アスリート自身が自身の体へ興味を持ち、コンディションをセルフマネジメントするきっかけとなるよう、本センターで作成したツールを紹介する。世界レベルと同等の体格で戦える女性アスリートへ導くためのヒントとなれば幸いです。</p> <p>参考文献 1) 順天堂大学 女性アスリート戦略的強化支援方策レポート作成ワーキングチーム. 女性アスリート戦略的強化支援方策レポート. 順天堂大学マルチサポート事業(女性アスリートの戦略的強化支援方策の調査研究). 26-41. 2013 2) 鯉川なつえ, 中尾聡子, 大沢亜紀, 窪真由美, 桜庭景植, 北出真里, 藤田真平. Female Athlete Triadの改善および予防に関する実践的研究. 平成26年度女性スポーツ研究センター紀要. 8. 2015 3) 能瀬さやか, 中村真理子. Health management for female athlete. 独立行政法人日本スポーツ振興センター. 4-30. 2016</p>
受講料	会員: 5,400円 一般: 6,480円
定員	50名 → 100名 (定員に達し次第締め切ります)
キャンセルポリシー	開催1週間前までにご入金がない場合、受付をキャンセルとさせていただきます。開催1週間前を過ぎますと、キャンセルチャージとして受講料の100%を申し受けます。
CEU	0.5(カテゴリーA)

菊池 直樹
(CSCS,*D,認定検定員,
日本体育大学助教)



関口 晃子
(順天堂大学女性スポーツ研究
センター コーディネーター,
淑徳大学短期大学部 非常勤講師)

